

あなたにおすすめのコース・教材（スピーキング学習）

インプット

1 **booco**

スピーキングAdvanced コース（必修本3冊）



2 オンラインセミナー

- ・モチベーションアップ
- ・クリエイティブスピーキング
- ・ロジカルスピーキング（Reasons & Evidence）
- ・ロジカルスピーキング（Giving Opinions Effectively）

アウトプット

3

アルクオンライン英会話

スピーキング
トレーニング
or
フリートーク
(中級・上級)

4

トーキングマラソン



3

4

取り組みやすい方を選択する。発話量が増えればどちらでもよい。両方選択してもよいが、トーキングマラソンは平日のスキマ時間に積極的に入れるのもおすすめ。

アセスメント

5



スピーキングテスト2回

コース目標

- ・日常だけでなく会議やプレゼン、交渉の場で適切な英語を瞬間的にアウトプットし、円滑なコミュニケーションができるようにする(フォーマル/インフォーマルな表現の使い分けができる)。
- ・トピックについて自分の考えを明確にし、接続詞や分詞構文、関係詞などを用いた長い英文をたくさん言えるようにする。
- ・新たな表現をActiveボキャブラリー(当たり前前に使える表現)へと変換していく。

学習目安時間

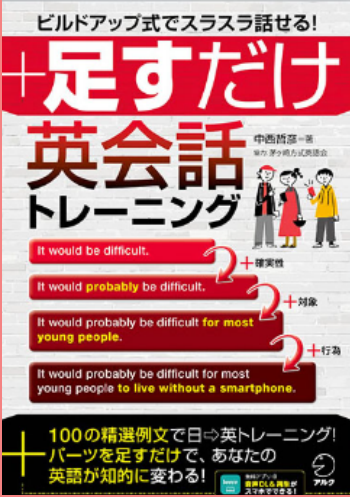
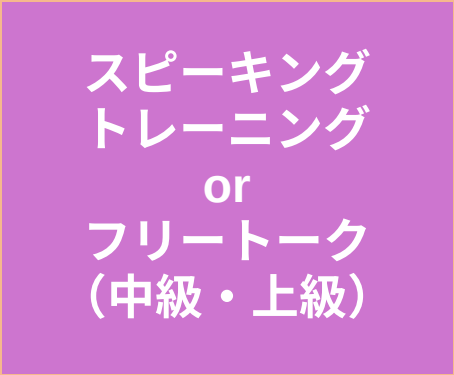
1日 19分

(総合学習時間 約58時間)

*TSST受験時間除く。アウトプットすべてに取り組んだ場合

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

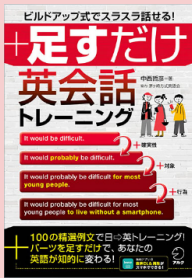
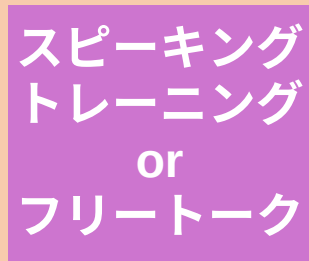
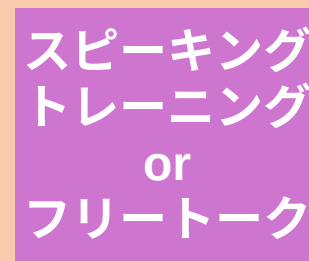
学ぶ順番・学習スケジュール例（6か月間）

コース・教材	インプット				アウトプット		アセスメント
	1			2	3	4	5
	booco スピーキングAdvancedコース(必修本)			オンラインセミナー	アルク オンライン英会話	トーキング マラソン	スピーキング テスト
				 ①モチベーションアップ ②クリエイティブスピーキング ③ロジカルスピーキング （Reasons & Evidence） ④ロジカルスピーキング （Giving Opinions Effectively）			
進度	ユニット数	ユニット数	ユニット数	本数	レッスン数	ユニット数	—
進度目安 1か月目	1 - 35	全47ユニット	—	最初の1か月で①～④を視聴	1-4回目	20以上	受験
進度目安 2か月目	36 - 65			学習しながら、困ったときにいつでも見直す	5-8回目	20以上	—
進度目安 3か月目	66 - 100				9-12回目	20以上	
進度目安 4か月目	—	—	1 - 35		13-16回目	20以上	
進度目安 5か月目			36 - 65		17-20回目	20以上	
進度目安 6か月目			66 - 96		21-24回目	20以上	受験

34
取り組みやすい方を選択する。発話量が増えればどちらでもよい。両方選択してもよいが、トーキングマラソンは平日のスキマ時間に積極的に入れるのもおすすめ。

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習スケジュール例（1週間）

5～6日間					1日間			
1か月目～ 3か月目	インプット	1		7～8ユニット	インプット	2		最初の1か月で4本すべてを 見るのがおすすめ
				3～4ユニット（3か月） or 1～2ユニット（6か月）	アウトプット	3		1回 ※
	アウトプット	4		5ユニット以上 ※				
4か月目～ 6か月目	インプット	1		7～8ユニット	アウトプット	3		1回 ※
			アウトプット	4				

本スケジュールを参考に1週間の計画をご自身の都合に合わせて組み立ててください。
例）「1週間毎日勉強する」「1週間のうち1日は休み、ほかの6日間で勉強を進める」等

◎所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習の進め方・学習のポイント

インプット

1

booco

アプリの各レッスンに沿って学習をすすめる（[booco使い方を見る](#)）

2

オンラインセミナー

最初の1ヵ月ですべて視聴することをおすすめ。疑問に感じた時にいつでも戻ってきて参考に。（[オンラインセミナーページを見る](#)）

アウトプット

3

アルクオンライン英会話

[スピーキングトレーニング]

①毎回使用したい英文法表現/構文を決めて授業に臨む。

②5つ[中級/上級]のファンクション(スピーキングトレーニングテキスト参照)をベースに、講師と一緒に授業を進めていく。その中でも「自分のことを話す」ファンクションにまずは焦点を当てる。

③講師から新たな表現や文法について説明をされたら、ノートにメモをとる。最低一つの知識を積み重ねていく。

[理想]新しい表現をメモしたら、それを使って英作文を試みる(口頭でもよい)。

[フリートーク]

①毎回使用したい英文法表現/構文を決めて授業に臨む。

②[中級/上級]受講生がトピックを事前に決め、講師と実践していくのが理想的。身近なトピックを選び、それについて”言いたいこと”を英文で作成し用意しておくこともおすすめ。本番がたとえスピーチのようでも、発話量が増え当たり前に使用できる英語表現が増えればOK!

4

トーキングマラソン

各スキットに沿って学習をすすめる（[使い方を見る](#)） 解答に6秒の制限時間があるため、Quick Response力を鍛える。つまり、瞬間的に英文を作成する意識付けを行う。

アセスメント

5

TSSTスピーキングテスト

9段階レベルとスコアで判定し、スピーキング能力の詳細分析が可能です。あなたに効果的なトレーニング方法の詳細も提示されますので、受験をおすすめします。詳しくは受験期間前日に送信される「英語スピーキングテストTSST受験のご案内」をご覧ください。

プラスαの勉強法

- ✔ booco[足すだけ英会話トレーニング]
- ①日本文を読んだ瞬間に言いたいことを概念化(イメージ)してみる。
 - ②＊SとVを意識して、英文を言ってみる。特に文頭の入りを決める。主にSをどうするか考える(模範解答とSが違っていてもよい)。
 - ③模範解答を確認し、音読してみる(3回から5回)。
 - ④メインとなる表現を抽出し、自分で英文を作成してみる(Extraction and Application)。その際、出来るだけ長い英文を作ってみる(いつ？どこで？だれが？何を？なぜ？どのように？などの情報を追加していく)。
(例) 【抽出した表現】 from home and abroad (国内外から)
【自分で作成した英文】 A lot of spectators from home and abroad came to this stadium to watch the final game of World Cup 2022.
 - ⑤テストへ進み、最終確認を行う。
＊S:何々は[が]、誰々は[が] V:～する、～である、～にいる

追加のおすすめ学習教材

メインコース・教材中心に取り組み、学習時間に余裕がある方は「追加学習コース」に取り組むことをおすすめします。

NetAcademy Next



総合英語トレーニング 中級・上級コース

学習時間確保のコツ

「学習時間を確保できない」は多くの英語学習者が持つ悩みです。勉強時間の確保にはコツがあります。時間を削って新たに学習時間を生み出すのではなく、見つけることが重要です。

毎日のルーティンとセットにする

- ✓ 生活パターンを把握して学習時間を見つける
- ✓ 無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む

無理に思える学習計画（例えば、「自宅で夕食後に1時間」「朝早起きして1時間」「帰宅後に趣味の時間を削って1時間」等）では時間が確保できず、学習が続きません。週末には可能であればじっくり取り組む時間を取りたいものですが、重要なのは「無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む」ことです。ルーティンとセットにして、学習を継続しましょう。

ルーティン

電車に乗る（行き）
電車に乗る（帰り）
会社の昼休み
入浴前・後
寝る前にスマホを見る
お弁当を作る（平日）

ルーティンとセットにする

電車での行き帰りの15分
昼食後の10分
入浴前後の15分
寝る前の5分
お弁当作りの時（リスニング学習）等